

## 教育に役立つ共同研究は教育分野に限りません。

附属学校園は、元来、教員志望の学生が実習を行う場として設立されましたが、今や、その存在は大学の研究を実践する場として貴重になっています。例えば、過去に子どもの咀嚼に関する研究が、歯学部と附属学校園で共同で行われたことがあります。歯学研究領域の発展になるとともに、幼小中の子どもの健康教育に結び付く可能性があります。

また、教育学部はもちろんのこと、どの学部の学生・院生にとっても、共同研究を通して子どもとかわるることにより、専門領域についての学びを深めるチャンスとなります。

“共同研究は教員・研究者に新たな視点を与えます。”

“共同研究は学生・院生の新たな学びの場を提供します。”

### 見学や相談も随時受付

共同研究のお気持ちがあれば、どうぞお気軽に見学や相談にいらしてください。新たな視点が生まれるかもしれません。

“共同研究は子どもの新しい可能性を広げます”



問い合わせ・申請書提出先：  
[fuzokuinfo@cc.niigata-u.ac.jp](mailto:fuzokuinfo@cc.niigata-u.ac.jp)



書式：資料の格納先：  
[www.das.niigata-u.ac.jp](http://www.das.niigata-u.ac.jp) の「共同研究について」をクリック



相談・見学：  
[fuzokuinfo@cc.niigata-u.ac.jp](mailto:fuzokuinfo@cc.niigata-u.ac.jp)

新潟大学附属学校部

2024年6月（改訂）



新潟大学  
附属学校園と大学の  
共同研究のしおり

# 附属学校園と大学の共同研究 を始めてみませんか？

## 共同研究のテーマは無量大

新潟大学附属 6 校園\*と大学学部・研究科との共同研究は、学生及び大学教員と附属教員による理論と実践を結ぶ活動として、重要な役割を担っています。今までに、専門や校種をまたぎ時代の先端を行くような新たな共同研究が開発・実施され、成果を生んでいます。

さらに多くの皆様に共同研究を広めるべく、共同研究の申請手順についてパンフレットを作りました。

### \*新潟大学附属 6 校園：

- ・附属新潟小学校
- ・附属新潟中学校
- ・附属特別支援学校
- ・附属幼稚園
- ・附属長岡小学校
- ・附属長岡中学校

## 共同研究の申請手順について

- 共同研究実施の見通しが既にある場合、申請せずにすすめていただいで構いません。
- 共同相手が未定など、ご相談が必要な場合、まずは附属学校部にお問い合わせください。その後、一般的には、次のように手順が進みます。
  - 1) 附属学校部事務に共同研究申請書を提出（書式と提出先は下記）
  - 2) 附属学校部において検討、不明な点があれば申請者に問い合わせ
  - 3) 附属学校部から相手方（附属学校園：校園長、大学：当該教員）に連絡、共同研究受け入れの意思確認
  - 4) 双方の同意の基に連絡開始、打ち合わせの設定
  - 5) 倫理審査の申請と承認、同意書に署名

## 申請にあたっての留意点

- 児童生徒の安全性の確保：身体的負担、精神的負担、コロナ対策
- 児童生徒の個人情報保護：データから学校名・個人名の削除、個人情報は一切公表しない、データ管理
- 附属教員と大学教員の関わり方：互恵的な研究活動を目指す

\*詳しくは申請書をご覧ください。

附属学校部は双方の意思を尊重し、必要があれば修正を提案する調整役です。お気軽にご相談ください。

問い合わせ・申請書提出先：[fuzokuinfo@cc.niigata-u.ac.jp](mailto:fuzokuinfo@cc.niigata-u.ac.jp)

書式・資料 URL：[www.das.niigata-u.ac.jp](http://www.das.niigata-u.ac.jp)の「共同研究について」をクリック

## 共同研究の例：

1. 教育実践学研究科×福井大学×附属長岡小×附属幼稚園 幼保小  
接続における子どもの学びと育ちを支える教師の学び  
附属長岡小・附属幼稚園教員  
岸野麻衣（福井大学）  
中島伸子（教育実践学研究科）
2. DX 推進機構情報基盤センタ×附属新潟×附属長岡校園 ボードゲームを活用したコミュニケーションとゲーム障害理解  
附属新潟・附属長岡校園教員  
松本多恵(DX 推進機構情報基盤センター)
3. 教育学部×附属新潟中 読者想定法によるニュースサイトの記事を読むことの指導  
附属新潟中教員  
足立幸子（教育学部）